

資料 2

第10次高齢者保健福祉計画・
第9期介護保険事業計画策定について



介護保険料の推計について

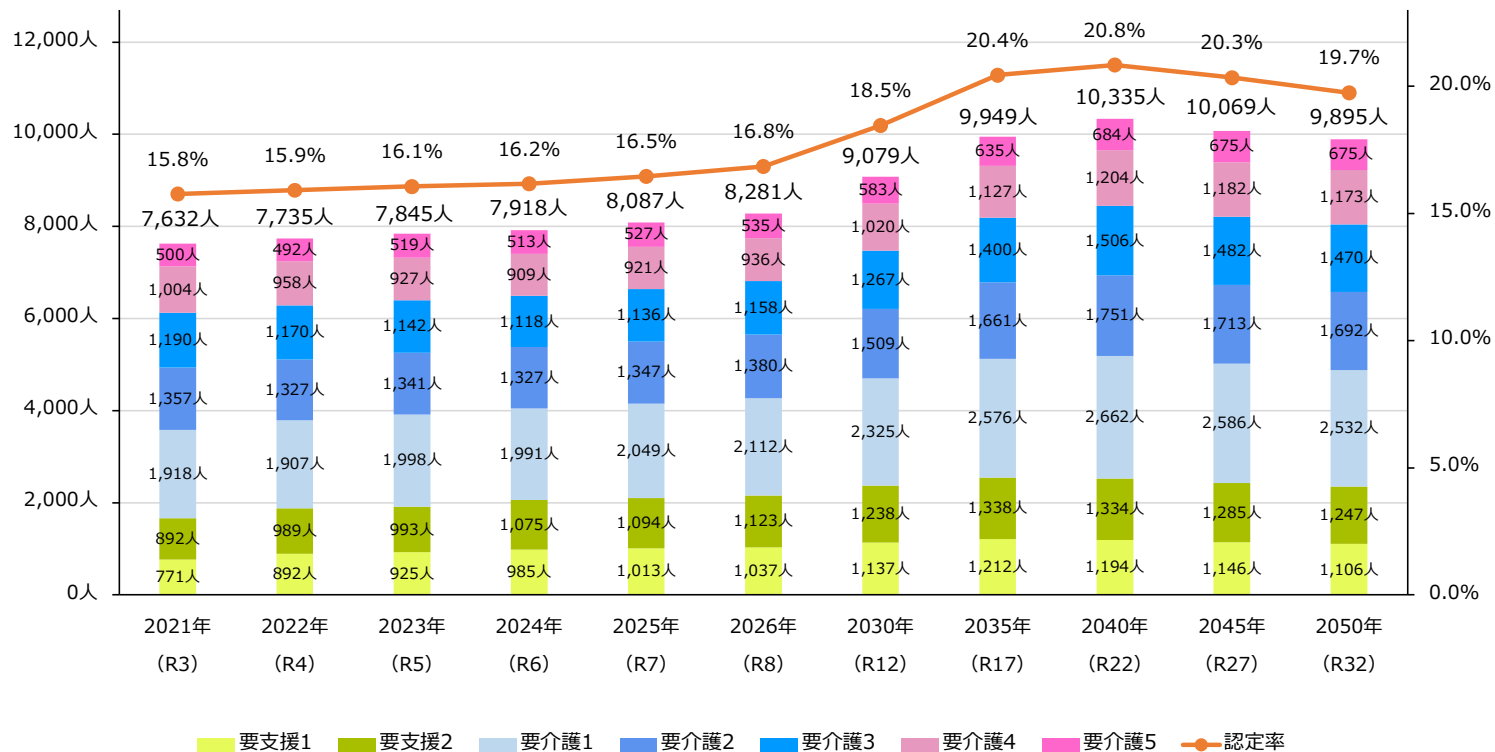
令和5年11月14日 磐田市介護保険運営協議会



磐田市 健康福祉部 高齢者支援課

1. 認定者数の見込み

要介護・要支援認定者数（認定者）及び第1号被保険者に占める認定者の割合（認定率）は増加傾向にあり、令和8年度には認定者数：8,281人、認定率：16.8%となる見込み。
 その後も、認定者数及び認定率は上昇を続け、令和22年度にはピークを迎えた後、減少することが予想される。



※R3及びR4は事業状況報告（月報）、R5は8月末時点。 ※認定率は（1・2号認定者数）÷（1号被保険者数）

2. 介護給付費の推移・見込み

(1) 施設整備

第8期の施設整備計画（総量規制及び公募対象施設）

施設種類	法人	事業所	定員等	開設時期
介護老人福祉施設	(福)白寿会	特別養護老人ホーム 第二白寿園	増床40床	令和6年4月
介護老人保健施設	(医)恵成会	介護老人保健施設 なかよし	増床50床	令和6年4月
看護小規模多機能型居宅介護	セントケア静岡 (株)	セントケア看護小規模 三本松	宿泊7室	令和4年3月
小規模多機能型居宅介護	(株)アイケア	あいの街大久保	宿泊8室	令和4年6月
認知症対応型共同生活介護	(有)アートプロジェクト	グループホーム 磐田富丘の家	18床	令和5年4月
小規模多機能型居宅介護	(有)ナチュラルライフ	小規模多機能ひとこと	宿泊9室	令和5年4月

第9期の施設整備計画（総量規制及び公募対象施設）

		見込	計画		
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
介護老人保健施設	ベット数	590	590	590	610
	総施設数	6	6	6	6
介護医療院	ベット数	50	50	100	100
	総施設数	1	1	2	2

2. 介護給付費等の推移・見込み

(2) 介護給付費等の見込み

介護給付費及び地域支援事業費等は、令和4年度は新型コロナウイルスの影響等により前年度と比較して減少したが、その後は認定者数に比例して増加し、令和8年度末には約145億円となる見込み。認定者のピークとなる令和22年度には給付費もピークを迎え、その後減少することが予想される。



※R3及びR4は国庫負担金の基準額

3. 紙おむつ購入費助成事業の見直し

概要及び今後の対応

在宅生活を送る高齢者の中には常時紙おむつを必要とする方が一定数おり、住み慣れた地域・自宅で安心して暮らし続けるためには事業の継続が必要だと考える。

そこで、これまで一般会計で負担していた分も含めて介護会計（保健福祉事業）に位置付け、事業を継続したい。

【介護会計（保健福祉事業）の概要】

	一般会計・介護会計（任意事業） （現在）	介護会計（保健福祉事業）
対象者	・被保険者（介護認定は不要）	・被保険者（介護認定は不要） ・家族等の介護者
対象者の制限	・介護度及び身体状況 ・所得制限	任意（市が別に定める。）
給付方法	購入費助成券の交付	任意（市が別に定める。）
財源	一般会計：一般財源 介護会計：国・県・市、保険料	介護会計：保険料

見直しによる影響

対象者	変更なし
給付額・給付方法	変更なし
保険料	上昇（月額100円）

4. 介護給付費準備基金

介護給付費準備基金について

設置目的	介護保険の保険給付費の支給に要する費用の支払に不足を生じた場合の資金に充てることを目的に設置する。
積立額	○介護保険事業特別会計の歳入歳出の決算余剰金のうち、第1号被保険者の保険料収納額に相当する額から保険給付費における第1号被保険者の保険料負担に相当する額を控除した額 ○基金の運用から生ずる収益
基金残高	約11億1百万円（令和5年度末見込み）

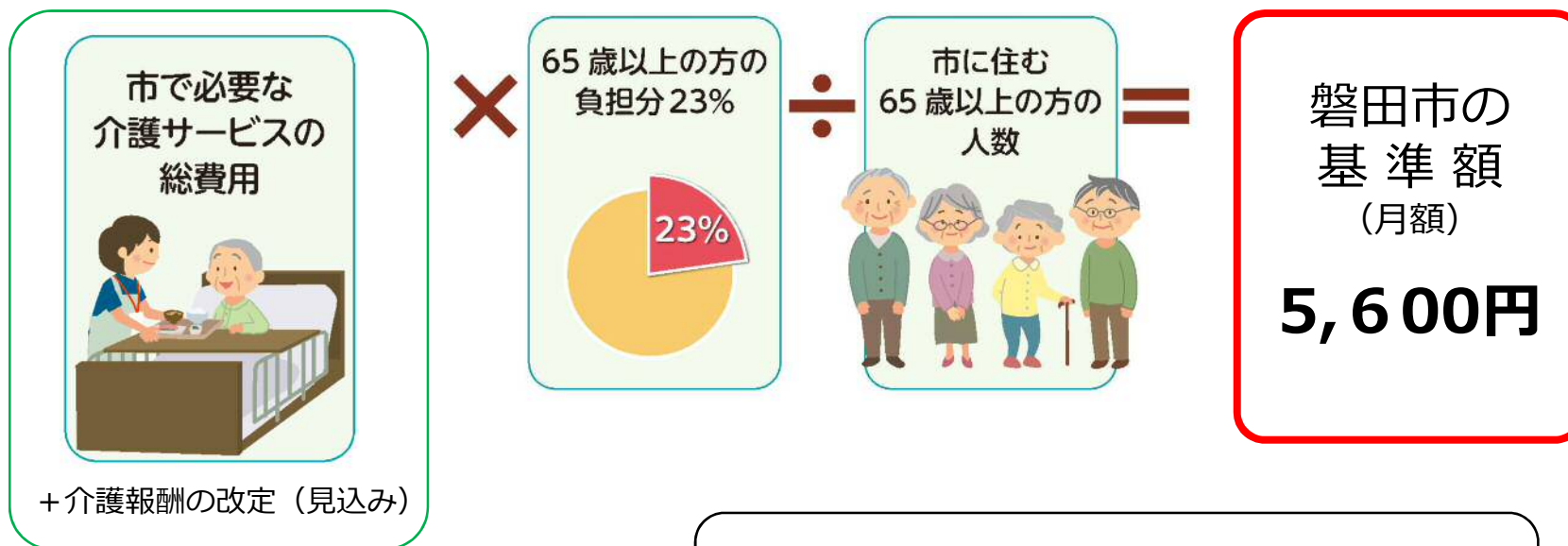
基金の取崩し

支払いの不足に備えた一定の金額を確保したうえで、約7億9,100万円を取り崩し、保険料額の上昇抑制に充てる。

5. 保険料

以上から第9期介護保険事業計画期間において必要な保険料額は、月額5,600円と算出される。

基準額の決まり方



【参考】

第8期計画期間における基準額：月額5,100円